

平成 23 年度

(財) 千葉県下水道公社における  
「普及啓発活動」 報告書

～見えない下水道の「見える化」への取り組み～



平成 24 年 3 月

財団法人 千葉県下水道公社

## H23（財）千葉県下水道公社における『普及啓発活動』

### はじめに・・・ ～普及啓発活動の意義～

下水道施設は、日頃、目にする機会がないことから、関心や使用している意識を持たれることが少ないのが実情です。しかし、建設の促進に加え、適切な維持管理、健全な経営を図るためには、一般の方々の理解と協力が不可欠です。このため、下水道に関心を持ってもらうこと、下水道の役割や重要性を知ってもらうことが、大変重要です。

（財）千葉県下水道公社では、それら下水道事業に対する住民の理解を深めることを目的に様々な啓発活動を展開しています。ここでは、平成23年度に実施した「普及啓発活動」を報告します。

### 普及啓発活動の内容

#### 下水道知識の普及啓発

- 1) 処理場見学 2) 下水道教室の開催 3) 各種イベントへの参画
- 4) 「下水道の日」における各種事業の実施 5) パネル・ビデオ及び専門図書の貸出し
- 6) 広報紙及びパンフレットの発行

#### 下水道技術者の養成

- 1) 研修会の開催 2) 市町村研修生の受入れ・実務を通しての技術習得

#### 下水道技術の調査研究

- 1) 下水道技術全般に関する調査研究

### 平成23年度 普及啓発活動報告



#### 処理場見学

流域4処理場にて見学者の受付・説明を実施しました。

- ・ 花見川・花見川第二処理場 H23 1,173人
- ・ 手賀沼処理場 H23 1,047人
- ・ 江戸川第二処理場 H23 190人 ※3月末現在

■職員の説明やビデオを見た後、施設見学を行います。トンボ池や修景池の見学は、水と生き物の関わりについても考える機会になります。

#### 夏休み親子下水道施設見学会

処理場周辺の小学生と保護者を対象に見学会を実施しました。

- ・ 参加者 139人 53家族（平成23年7月30日実施）

■親子で下水道を学ぶ貴重な機会になりました。また、夏休みの自由研究にも活用できるように構成し、親子ともに大好評でした。



#### 出張下水道教室の開催

- ・ 32の小学校で69授業 2,354人に授業しました。

※昨年度の約2倍の授業を実施しました。

<下水道教室の内容>

- ・ 水の循環について→下水終末処理場のしくみ→児童による水質浄化実験

→ 微生物の観察→下水道の使い方について

- 水質浄化実験や微生物（活性汚泥）の観察、大型テレビでパワーポイントを活用し内容を充実。先生にも子供達にも大好評でした。楽しみながら下水道を学んでいただきました。



各種イベントへの参画

- ・花と緑のフェスティバル 10月8日(土) ブース来場者 414名
- ・印旛沼環境フェア 10月22日(土) ブース来場者 338名
- ・市川市民祭り 11月5日(土) ブース来場者 680名

■各種イベント等に、下水道啓発ブースを出展。パネルによる「下水道クイズ」で楽しく下水道を学んでいただいています。パンフレットや景品・啓発品を無料配布し、自宅に持って帰ることにより、家族への啓発にも貢献します。



下水道の日における各種事業①

・横断幕の設置

■県庁前歩道橋と国道357ポートアリーナ前に下水道啓発の横断幕を設置し啓発しました。  
例年使用できる文言にし、毎年1箇所ずつ掲示箇所を増やしていきます。また、県内市町村にも貸出を行います。

下水道の日における各種事業②

・千葉日報への寄稿

■9月10日の下水道の日に千葉日報に掲載しました。

・PRポスターの配布・掲示

■9月10日の下水道の日にあわせて、PRポスターを作成。  
公共交通機関(JR・モノ・バス)や市町村等関係公共機関へ配付・掲示し下水道の日や千葉県の下水道についてPRしました。また、市町村の下水道担当課へ下水道啓発品を併せて無料配布しました。  
※公共交通機関 1,026枚 市町村等関係公共機関 974枚  
総数2,000枚を県内に配付・掲示しました。  
啓発品は油処理剤に名入れをし、6400個を無料配布しました。



下水道の日における各種事業③



・bayfmによる啓発

■9月10日下水道の日の前日、bayfm生放送中に、人気DJ(きゃんひとみ等)により生CM放送を実施。(60秒間×4番組)  
BGMに「はたらく下水道」を利用。  
その他、県庁広報枠「サタデー・プレイング・モーニング」や「ちばプリフェクチャーアップデート」でも下水道CMを放送し、下水道が電波ジャックしました。

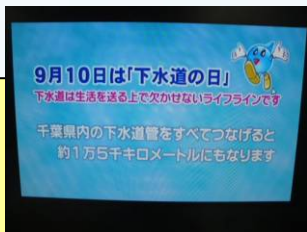
きゃんひとみ	井森 美幸	春原 佑紀
Kyanhitomi	Miyuki Imori	Yuki Haruhara
POWER BAY MORNING	BAYLINE Go!Go!	FLY!DAY TRIPPER~FROM SKY GATE~TRI
(金)5:00~8:51	(金) 16:00~18:55	(毎週金) 12:00~15:50

下水道の日における各種事業④

・大型スクリーンによる啓発

■下水道公社HPの「下水道のしくみ」動画を大型スクリーン用に編集・制作し、千葉駅前、海浜幕張駅前、マリスタジアム、県庁本庁舎ビジョン、ジェフのフクダ電子アリーナ等で放映しました。千葉駅前は数ヶ月間、マリスタジアムはロッテの全試合前に放映でき、下水道の日のみでなく長期間放映しています。  
県内の市町村にも働きかけ、希望のあった市町村に無料で配布し、市役所内や行政サービスコーナーなどでも放映。下水道の正しい知識を不特定多数の住民にPRしました。

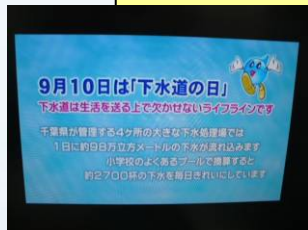




下水道の日における各種事業⑤

テレビによる啓発

■9月10日下水道の日に、千葉テレビの朝の生放送番組でPRしました。  
千葉テレビー押しのアナウンサーに「下水道は生活する上で欠かせないライフラインです。」とPRしていただきました。



下水道の日における各種事業⑥

県・市の広報誌による啓発（「ちば県民だより」）

■「ちば県民だより」9月号で、下水道の役割や正しい使い方を掲載・PRしました。

メールマガジンによる啓発

■千葉県メールマガジン「なのはな通信」で、下水道の必要性や下水道の日をPRしました。

フリーペーパーによる啓発

■フリーペーパーの「地域新聞」5月・9月に発行分に下水道の重要性や、下水道の日に関する記事を掲載。県内都心部の世帯（約130万世帯）に配付しました。※千葉県内読売新聞発行部数80万部新聞を購読していない世帯にも配付し、老若男女問わず多数の住民にPRできました。



下水道の日における各種事業⑦

啓発チラシ・ポスター等による啓発

■下水道公社職員で下水道啓発チラシやポスターを作成し、市町村下水道担当課にデータで配付。各部署で必要枚数を印刷・掲示し啓発しました。

また、上部利用施設（美浜ふれあい広場・福栄スポーツ広場）にも「この下は下水処理場です。」と啓発ポスターを掲示し、利用者にPRしています。



パネル、ビデオ等の貸出し

パネル・ビデオの貸出し

■パネルの貸出し5件（一般2件・栄町・君津富津広域下水道組合・県国際課）。

今年度からパネルの貸出しだけでなく、公社の職員が各種イベントにブース出展する企画を市町村にPR。今年度は市川市から依頼があり「市川市市民祭り」に出展・協力しました。

## 広報紙及びパンフレットの発行

### 広報紙「きらら」 年2回発行

■「きらら」No38を11月に、No39を2月に発行。

### 下水道児童用副読本「下水道を学ぼう。」

■昨年度から進めている「下水道児童用副読本」企画について、財政状況の厳しい中でも、7市町から計2万2千部の依頼を、その他の市町村からも次年度からの購入の連絡を受けています。成田市では社会科の副読本として掲載され、市内の4年生全員が授業で使うようになりました。市川市で小学校に使用状況調査を行った結果、DVDデータを使用し授業を行っている学校が多く、引き続きの購入依頼がありました。県内市町村の担当課と協力し、環境学習の観点からも普及啓発に寄与していきます。

### 下水道未接続者対策本「下水道を使おう。」

■今年度から進めている接続率向上のための「下水道未接続者対策本」企画について、4市から計2千部の依頼を受け、発行しました。



## 下水道技術者の養成

### 研修会の開催

#### 下水道担当職員講習会の開催

■市町村職員の技術の向上を図るため、2月3日に「下水道担当職員講習会」を開催しました。今年度は、「会社からの情報やノウハウの発信」を企画テーマとして開催し、29団体82名の下水道担当職員に参加をいただきました。

＜演題＞・県内震災復旧の状況

- ・調査研究の取り組み
- ・千葉県の国際協力支援への協力
- ・流域処理場での履行確認の方法やあり方
- ・普及啓発活動及び接続率向上の支援

#### 研修生の受け入れ

■技術者養成の一環とし、市町村研修生の受け入れを行っています。今年度は市町村に対して、研修業務内容や研修期間を短期にできる旨を追加問い合わせしました。しかしながら市町村では職員不足が原因で研修生を出す余裕が無く、研修希望はありませんでした。しかし、実際の現場での経験は講習会や研修では得ることが困難で貴重な機会となるため、今後も市町村への問い合わせは続きます。また、市町村が研修生を派遣し易くなるプラン等を検討していきます。

#### 下水道事業に係る課題等の意見交換

■市町村下水道担当職員が、業務における課題や疑問、他市に聞きたい状況や考え方等を下水道公社が取り纏め役となり、情報交換・意見交換する場を設けています。今年度は16市町村から多くの提案課題が上げられ、全市町村で意見・情報の交換をすることができました。



【提案内容】	【対応状況】	【備考】
0 【提案内容】 ○処理場内の衛生管理の徹底について ○下水道事業への関心について	【対応状況】 いずれも丁寧な対応をしております。	
1 【提案内容】 ○浄化槽の点検について ○浄化槽の点検方法について ○浄化槽の点検費用について	【対応状況】 浄化槽の点検については、浄化槽の点検費用の負担軽減を図るため、浄化槽の点検費用の一部を下水道公社が負担するよう努めています。また、浄化槽の点検方法については、浄化槽の点検方法の改善を図るため、浄化槽の点検方法の改善を図るよう努めています。	浄化槽の点検については、浄化槽の点検費用の負担軽減を図るため、浄化槽の点検費用の一部を下水道公社が負担するよう努めています。また、浄化槽の点検方法については、浄化槽の点検方法の改善を図るため、浄化槽の点検方法の改善を図るよう努めています。
2 【提案内容】 ○浄化槽の点検費用について ○浄化槽の点検方法について ○浄化槽の点検費用について	【対応状況】 浄化槽の点検については、浄化槽の点検費用の負担軽減を図るため、浄化槽の点検費用の一部を下水道公社が負担するよう努めています。また、浄化槽の点検方法については、浄化槽の点検方法の改善を図るため、浄化槽の点検方法の改善を図るよう努めています。	浄化槽の点検については、浄化槽の点検費用の負担軽減を図るため、浄化槽の点検費用の一部を下水道公社が負担するよう努めています。また、浄化槽の点検方法については、浄化槽の点検方法の改善を図るため、浄化槽の点検方法の改善を図るよう努めています。

## 下水道技術の調査研究

### 下水道技術全般に関する調査研究

#### 調査・研究報告書の発行

■下水道技術の向上を図るため、下水道技術全般に関する調査研究を行っています。今年度も江戸川第二終末処理場にて実施し第10号を発行、公社HPで公表。また、現在調査研究中のテーマについては、平成24年7月24日～27日に開催される第49回下水道研究発表会にて、研究成果を発表します。

#### 調査・研究報告一覧

発行日	テーマ
第1号 平成10年3月	江戸川第二終末処理場における水処理施設の運転について 加圧脱水機の薬注平準化について
第2号 平成14年3月	N-800対策としての硝化促進運転について 平成11・12年度処理限界容量調査結果と処理限界の予測 凝集剤投与最適化による効率的運転
第3号 平成15年3月	花見川終末処理場におけるステップ多段窒素・りん同時除去運転試験について 江戸川第二終末処理場におけるステップ多段窒素・りん同時除去運転試験について ホリ統廃第二工区による硝化水素発生抑制について
第4号 平成16年3月	花見川終末処理場におけるステップ多段窒素・りん同時除去運転試験について(2) 手賀沼浄化槽における硝化促進運転時の返送平準化によるコスト削減について 濁石戻のスケール対策について
第5号 平成17年3月	花見川終末処理場におけるステップ多段窒素・りん同時除去運転試験について(3) 炭素質吸着剤による脱臭設備の効率化 水の浄化実験を体験させる下水道教室の普及啓発効果
第6号 平成19年3月	発生汚泥量の削減方策の調査・研究について
第7号 平成20年3月	発生汚泥量削減に係る調査について
第8号 平成22年3月	排水処理後の汚濁を有した汚濁物質汚濁への濃縮効果とその効果による電力量削減について
第9号 平成23年3月	高分子凝集剤添加による清心濃縮機の水素濃縮について(当市より第一号による発行)
第10号 平成24年3月	砂ろ過前水ポンプの吐出量制御運転(I/V電圧調整)による省エネ運転 メタンガス回収装置における省エネ効果と経年劣化状況について

